

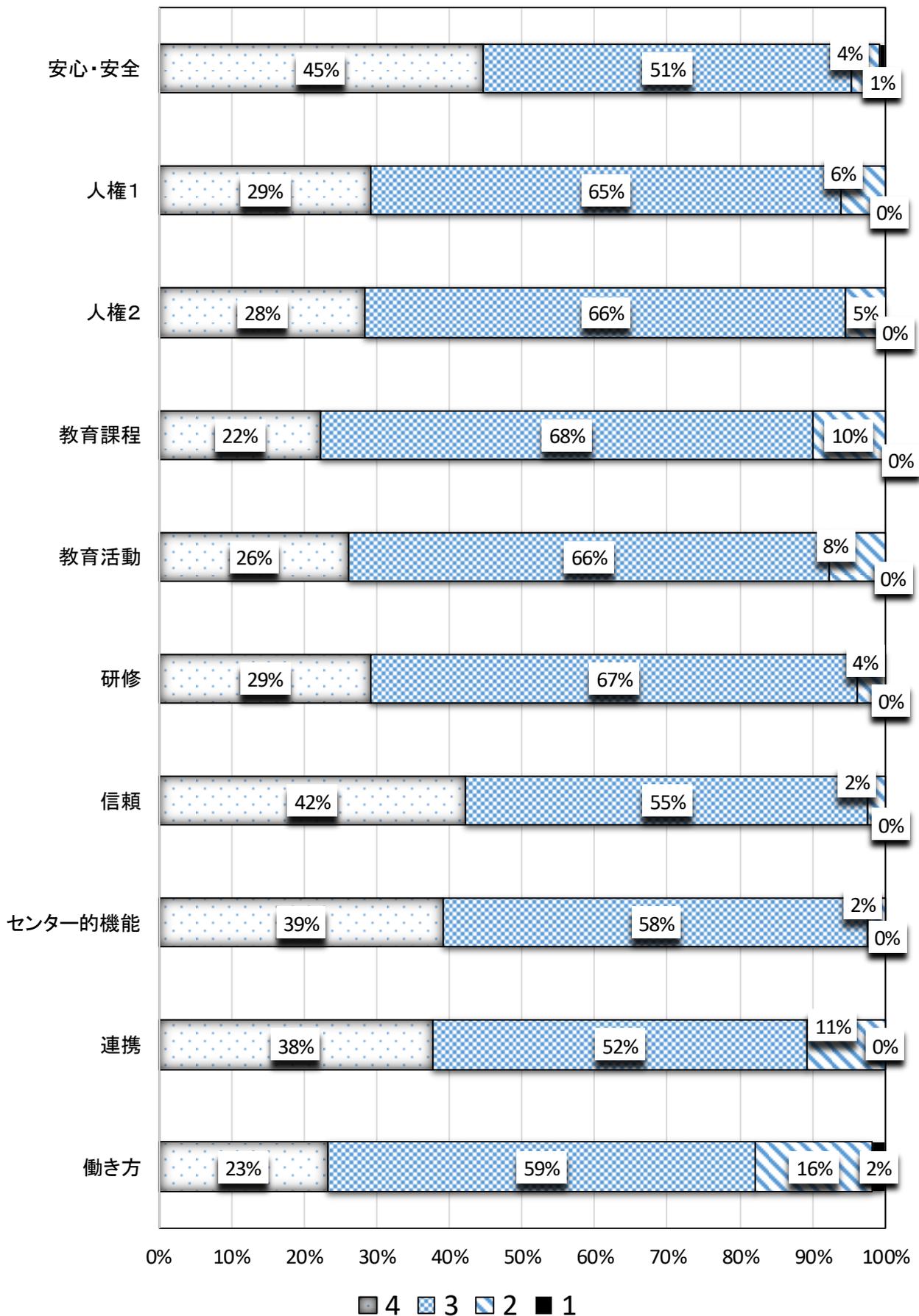
第2回 職員の自己評価(教職員による学校評価)結果 全体

(令和 元年12月実施)

回収数 130

項目	評価項目	評価	令和元年12月				回答数	平均値
			4	3	2	1		
安心安全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	58	66	5	1	130	3.4
		割合	45%	51%	4%	1%	中央値 3.0	
人権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	38	84	8	0	130	3.2
		割合	29%	65%	6%	0%	中央値 3.0	
	人権を尊重した人間関係が営まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	37	86	7	0	130	3.2
		割合	28%	66%	5%	0%	中央値 3.0	
教育課程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	29	88	13	0	130	3.1
		割合	22%	68%	10%	0%	中央値 3.0	
教育活動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	34	86	10	0	130	3.2
		割合	26%	66%	8%	0%	中央値 3.0	
研修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるための、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	38	87	5	0	130	3.3
		割合	29%	67%	4%	0%	中央値 3.0	
信頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	55	72	3	0	130	3.4
		割合	42%	55%	2%	0%	中央値 3.0	
センター的機能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能を充実させているか。	計	51	76	3	0	130	3.4
		割合	39%	58%	2%	0%	中央値 3.0	
連携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	49	67	14	0	130	3.3
		割合	38%	52%	11%	0%	中央値 3.0	
働き方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	47	70	11	2	130	3.2
		割合	36%	54%	8%	2%	中央値 3.0	
業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。		計	78	13	39	→	130	(回答数)
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄		割合	60%	10%	30%			

令和元年度 第2回学校評価結果



第2回 職員の自己評価(教職員による学校評価)結果 小学部					(令和元年12月実施)				
					回収数	57			
項目	評価項目	評価	令和元年12月						
			4	3	2	1	回答数	平均値	
安心安全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	28	28	1	0	57		3.5
		割合	49%	49%	2%	0%	中央値	3.0	
人権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	19	36	2	0	57		3.3
		割合	33%	63%	4%	0%	中央値	3.0	
	人権を尊重した人間関係が営まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	19	38	0	0	57		3.3
		割合	33%	67%	0%	0%	中央値	3.0	
教育課程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	18	36	3	0	57		3.3
		割合	32%	63%	5%	0%	中央値	4.0	
教育活動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	21	34	2	0	57		3.3
		割合	37%	60%	4%	0%	中央値	3.0	
研修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるための、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	21	34	2	0	57		3.3
		割合	37%	60%	4%	0%	中央値	3.0	
信頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	30	27	0	0	57		3.5
		割合	53%	47%	0%	0%	中央値	4.0	
セ ン タ ー 機 能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能を充実させているか。	計	26	30	1	0	57		3.4
		割合	46%	53%	2%	0%	中央値	3.0	
連 携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	25	26	6	0	57		3.3
		割合	44%	46%	11%	0%	中央値	3.0	
働 き 方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	26	30	1	0	57		3.4
		割合	46%	53%	2%	0%	中央値	3.0	
業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。		計	38	3	16	→	57		(回答数)
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄		割合	67%	5%	28%				

第2回 職員の自己評価(教職員による学校評価)結果 中学部					(令和元年12月実施)				
					回収数	30			
項目	評価項目	評価	令和元年12月						
			4	3	2	1	回答数	平均値	
安心安全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	13	15	1	1	30		3.3
		割合	43%	50%	3%	3%	中央値	3.0	
人権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	8	20	2	0	30		3.2
		割合	27%	67%	7%	0%	中央値	3.0	
	人権を尊重した人間関係が営まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	5	23	2	0	30		3.1
		割合	17%	77%	7%	0%	中央値	3.0	
教育課程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	5	21	4	0	30		3
		割合	17%	70%	13%	0%	中央値	3.0	
教育活動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	5	20	5	0	30		3
		割合	17%	67%	17%	0%	中央値	3.0	
研修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるための、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	6	23	1	0	30		3.2
		割合	20%	77%	3%	0%	中央値	3.0	
信頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	10	18	2	0	30		3.3
		割合	33%	60%	7%	0%	中央値	3.0	
セ ン タ ー 機 能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能を充実させているか。	計	9	19	2	0	30		3.2
		割合	30%	63%	7%	0%	中央値	3.0	
連携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	10	16	4	0	30		3.2
		割合	33%	53%	13%	0%	中央値	3.0	
働き方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	7	19	3	1	30		3.1
		割合	23%	63%	10%	3%	中央値	3.0	
業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。		計	21	4	5	→	30		(回答数)
		割合	70%	13%	17%				
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄									

